

# リップル仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成16年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ (W) -650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ (W) -650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約 6 m <sup>2</sup> /缶

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・リシガン(口径 4~6mm)※
- ・マスチックローラー (ジョリパットローラー JR-20 : 9インチ) 又は、  
金ゴテ
- ・リップルローラー (ジョリパットローラー JR-55 : 9インチ)
- ・コンプレッサー(3馬力以上 : 1台使用の場合)※
- ・ヘッドカットローラー (平面用 : ジョリパットローラー JR-26)  
(隅 用 : ジョリパットローラー JR-27)

※下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

## <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください

## <リップル仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m<sup>2</sup></u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

#### 1" JS-800の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m<sup>2</sup></u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シ-ズ</u>	20kg
	清 水	3~4kg
塗布量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	

※左官業者の場合は、JQ(W)-650を無希釈で

1.0kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。(下ごすり)

JQ(W) 650-71-01  
(JQ(W) -650 リップル)

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 化粧目地部分の逆養生

- ・化粧目地となる部分を逆養生する。  
(化粧目地については別ページ参照)

4. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>

- ・マスチックローラーにて JQ(W) -650 が約 2.4kg/m<sup>2</sup> となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

<左官業者の場合>

- ・金ゴテにて JQ(W) -650 が約 2.4kg/m<sup>2</sup> となるよう均一に配り塗りする。

5. パターン付け

追いかけ (5分以内)

- ・リップルローラー JR-55 に充分 JQ(W) -650 を含ませる。(図-1)
- ・JR-55 を壁面に押し付けるようにして水平に引き、パターンを付ける

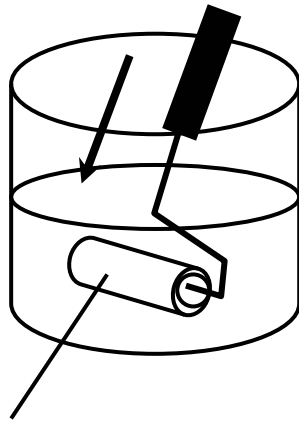
6. ヘッドカット (押さえ)

追いかけ (5分以内)

- ・ヘッドカットローラー JR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、JQ(W) -650 模様の表面をカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

## <施工のポイント>

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にする。
- ・ 塗布量が少ないと下地がすけたり、パターンがでないことがあります。
- ・ リップルローラーにJQ-650を充分含ませる。



JR-55 (リップルローラー)

図-1

- ・ JR-55の柄をやや壁面に近づけ、押し付けるようにして水平に引き、パターンを付ける。
- ・ 塗継ぎは、JQ-650が乾燥しないうちに、ローラーを前パターン面の内部5～10cmまで戻して付ける。(図-2)
- ・ 塗継ぎ箇所は同じ位置でそろえない様にする。

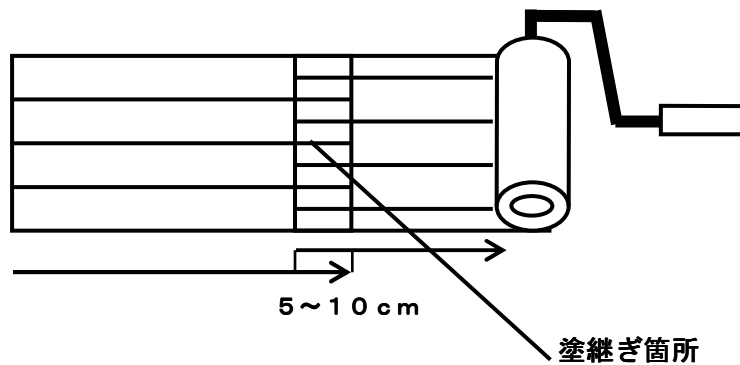


図-2

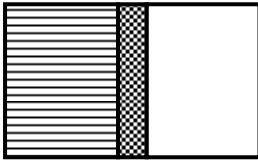
- ・ヘッドカットローラーは灯油に充分浸した後、パターンの凸部を軽く押さえるよう転がす。

・逆養生について

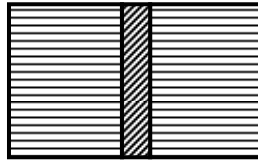
化粧目地はテープの逆養生で行い、目地幅により2通りの方法にて行う。

- ①化粧目地の幅が狭い時はテープを2重に貼り、1つのスパンが済みしだい、1枚をすぐ取りはずし、次のスパンが終了後、2枚目のテープを取りはずす。

1スパン 2スパン

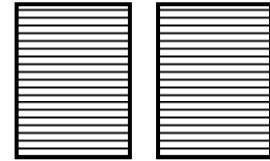


1スパンの主材上塗り終了後  
テープを1枚取りはずす



2スパンの主材上塗り終了後  
2枚目のテープを取りはずす

化粧目地

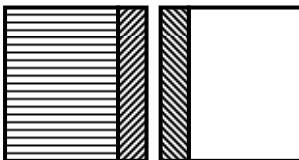


逆養生終了

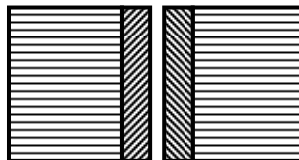
- ②化粧目地の幅が広い場合は、テープを重ねず1スパン目と2スパン目の間にテープを貼り

- ①と同様に行う。

1スパン 2スパン

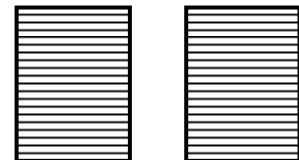


1スパンの主材上塗り終了後  
左のテープを取りはずす



2スパンの主材上塗り終了後  
2枚目のテープを取りはずす

化粧目地

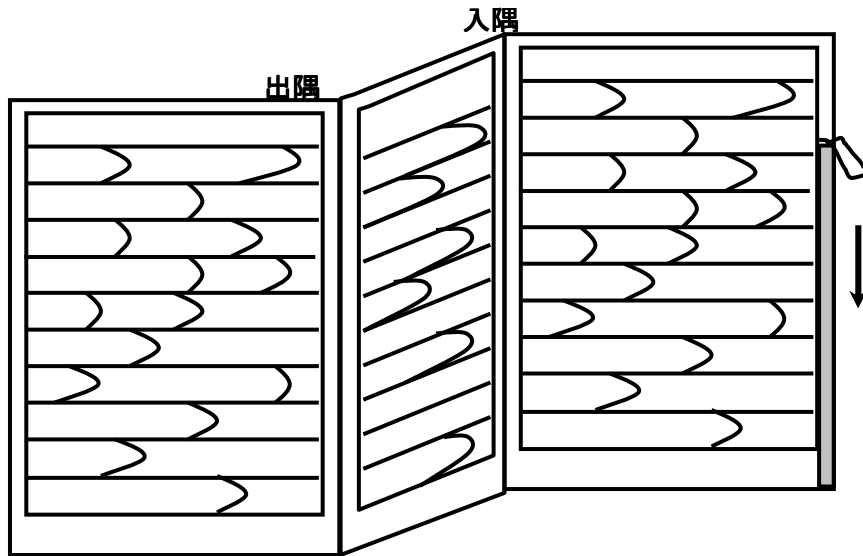


逆養生終了

テープは上述のようにパターン付け後すぐに取りはずし、乾燥後、カッター等できれいに仕上げる。

## ○入り隅、出隅の処理方法

- ・入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとる。(図-3)



パターン付け後、  
JQ-650の  
表面が乾燥する  
前に養生テープ  
を剥がす。  
下塗りの平らな  
部分が表面に出る。

化粧目地をとる工法

JQ-650を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。

図-3

## <施工の注意事項>

- ・ 大面積の壁面の場合、連続仕上げは困難である為、1スパン3m位の化粧目地を縦横ともにとる。
- ・ 配り塗りはできるだけ均一にして下さい。
- ・ 塗布量が少ないとパターンがでない場合があります。
- ・ パターン付けは、1スパンを1度に仕上げる。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上